



### 園児からの声援受けて 除雪作業の安全を願う

町は冬本番前の11月24日、除雪機械出動式と町内の保育園児や児童館の児童140人を招いて体験乗車会を行いました。



式では、鈴木重男町長が「事故のないよう、町民に満足してもらえる作業をしてほしい」とあいさつ。触澤義美副町長から運転手らに車の鍵が手渡されました。乗車会では8台の除雪機械に園児らは歓声をあげました。

「体に気をつけてがんばってください」との呼び掛けに、運転手らは笑顔で応え、気を引き締めていました。

### ソバとの出会いに感謝 笑顔で孫と収穫まつり

町農業委員会と葛巻幼稚園(榎山節子園長)の園児らの「孫との収穫まつり」が11月18日、総合センターで行われました。



7月、一緒にソバの種まきをしてから四カ月、約60kgが収穫されました。この日は、「そば粉のカルシウムたっぷりお焼き」作りの共同作業。「ソバの実に出合って、たくさん知ることができました」と黄川田真広君(5歳)のあいさつに、会場は孫のような園児らとおじいちゃん、おばあちゃん委員の笑顔に包まれました。

### 地元の食材おいしいね 五日市小学校で交流会

五日市小学校(星貴子校長)は地域住民約30人を招いて11月11日、ふるさと交流会を開きました。



地域の皆さんと一緒に、地元の食に目を向け、5種類の雑穀を栽培。料理は学年ごとに担当し、おにぎりや田楽豆腐、ハンバーグなど自分たちが栽培した雑穀のフルコース。大吹海君(4年)は田楽豆腐を担当。「豆腐作りも楽しかったし味も最高!」と誇らしげに語りました。午後は、昔の遊びで会場いっぱい笑い声が響きました。

### お世話になったお礼に 江刈小で感謝の会開催

「今年もお世話になりました。」



江刈小学校(湯原尚子校長)は11月19日、お世話になった地域の方々を学校に招いて「感謝の会」を開きました。

米作りや通学路の除雪、俳句を指導してくれた人など約30人が招かれました。子どもたちは感謝の気持ちを五・七・五の句に込め色紙にしたためて一人一人に手渡しました。角地美緒さん(5年)は「だっこくで みんなのえがお 秋みのる」と収穫の喜びと手伝ってくれた地域の人々に感謝し、全員でゲームなどで交流を深めました。



薄い緑色のお着物で、鈴木町長からお祝いの花束を受け取るマチさんと家族。

### 長生きの秘けつは牛乳 川戸さんお元気に100歳

秋晴れの11月7日、川戸マチさん(中村)は、めでたく満100歳の誕生日を迎えました。

家族の見守る中、鈴木重男町長が「ますます長生きしてください」と花束などを贈りました。宮古市出身のマチさんは、元町収入役を務めた夫の与四郎さん(故人)と結婚し葛巻へ。女学校時代に自己流でオルガンを習い、現在でも楽しんでいるとか。友達とご詠歌の会に参加することが一番の楽しみだったと当時を振り返ります。

今でも家事や草取り、庭木の手入れをこなすマチさんの長寿の秘けつは、「大好きな酢の物と毎日欠かさない牛乳かしら?」と笑顔で答えます。

「戦争があったり、いろいろ辛いこともありましたが、皆さんに支えられ感謝感謝です」と、かくしゃくと語るマチさん。ますますお元気で。

### 災害への備えを万全に 小屋瀬で総合防災訓練

町総合防災訓練は11月15日、小屋瀬中学校を主会場に、小屋瀬地区住民や関係者ら約180人が参加して開催されました。



訓練は、町総合センターに災害対策本部を設置。防災カメラで現場の状況を確認して対策を検討しました。小屋瀬中学校では、指揮本部の設置から初期消火活動などを実施。今回、新たにイントラ放送を利用したサイレンの吹鳴や屋外告知放送なども行われました。触澤進一小屋瀬地区自主防災隊長は「もしものときに備え訓練を重ねたい」と防災体制の強化を誓いました。

### 人生は笑いが一番だね 3地区協働で寄席開催

「日ごろの疲れを笑いで吹っ飛ばしましょう」



城内小路と下町、田子の三自治会は11月22日、「第2回城下子寄席」を合同で開催しました。

会場には落語ファンなど約250人が押し掛け、八戸市出身の真打ち・桂小文治師匠など5人の落語や漫談などに大笑い。ギタレシ漫談の「びろき」は「人生は笑いが一番!明るく陽気にいきましょう」と会場を沸かせました。寄席は3地区の事業所や町の協働のまちづくり補助金などで開催され、今後も継続したいと主催者は意気込んでいました。

### 新たな観光スポットに 町観光協会が桜を植樹

葛巻町観光協会(遠藤裕樹会長)は11月5日、くすまきワイン工場周辺にオオヤマザクラ42本を植樹しました。



同協会では、「100年さくらプロジェクト事業」として今年から100年かけて毎年桜の苗木の植樹に取り組み始めたもの。遠藤会長は「我が町に、桜の名所という新たな観光スポットを作り、観光客を呼び込みたい」と、壮大なプロジェクトに夢を馳せていました。

### 未来のための心掛けに エコドライブの講習会

県環境生活企画室とくすまき環境パートナーシップは11月12日、エコドライブ講習会を開催しました。



講習会には、町民ら8人が参加し、普段の走行と講習後の走行データで燃費を比較。ふんわりアクセルや道路上でのアイドリングストップなど効果を実感していました。エコドライブは、心掛け一つで20%の燃費改善が可能。参加者らは「地球の未来のためにエコドライブを実践しよう」と誓い合いました。

ディビット・マナーリオ (指導主事助手・32歳)

#### こえあ〜

十月二十九日、五日市小学校を訪ね、英語の授業後、五年生は雑穀の「イナキビ」と「タカキビ」を打つため学校近くの畑へ。僕も一緒に行きました。ただ見るだけのつもりでしたが、担当の先生が木の枝でできた大きなフォークのような棒を僕に手渡ししました。「僕もやるのですか?」と尋ねると、先生は笑顔でうなずきました。もちろん、普段は気にしないけれど、今日、脱穀することを知らなかったし(僕が忘れたかも?)ズボン・革靴・ネクタイでした。つまり、ふさわしい服装ではなかったのです。作業が進むにつれて暑くなり、どんどん服を脱ぎました。その様子を見た真子さんは、「どんだけ着てるの?」と言いました。寒がりの僕はその日、ジャケット、フリース、ベストまで着ていました。

僕がこん棒で豆を打っているときのこと。僕のそばで、みさとさんが豆を打つのがつまらなくなると、僕をいじるほうが楽しいと思ったようでした。最初は背中を打っていましたが、反応しなかったため、僕の顔を打ち始めました。「こら!」と言って仕上げにみさとさんをくすぐりました。2時間たっぷり脱穀したら「こえあ〜(疲れた)」。しかも給食を食べるころには、僕は顔がすごくかゆかったです。でも、働いたあとの給食はとてもおいしく感じました。

この文章は、ディビットさんが日本語で書いています。